

伴野豊の絆レポート



伴野豊の活動報告

皆さん！こんにちは、伴野豊です。秋ですね。秋と言えば観光。特別拝観のある京都の秋は見どころ満載、まさに「そうだ京都、行こう」ですね。名古屋では10月5日から「なごやめし博覧会」が開催されるようです。私の地元知多半島でも負けていません。例えば半田市では「ごんの秋まつり」が9月20日から一ヶ月開催されています。いずれのにしても、この観光シーズンを支えているのは、各行政や地域の皆さん方です。皆様方の日々のご尽力に心から感謝致します。

伴野豊の気になる国土交通政策

リニア中央新幹線いよいよです。

1.環境影響評価（アセスメント）準備書

JR 東海は、9月18日、駅の位置などを盛り込んだ環境影響評価（アセスメント）準備書を沿線7都県と39の市町村に送付したとのことです。それに伴い詳細なルートや駅の位置を発表しました。品川駅と名古屋駅は東海道新幹線の既存駅と直結。なかでも、名古屋の新駅は現在の地下三十メートルに設置し、東海道新幹線と最短三分で乗り換えられるようにするらしいです。神奈川など中間4県に設けられる駅も在来線の駅に近接した場所に設けることとのようです。

2.大深度地下利用法

首都、近畿、中京の三大都市圏で公共性の高い事業を進めるため地下空間の活用を図る法律で、2001年4月より施行されており、地下40メートル以上の空間を「大深度地下」と定義し、公共目的の事業に限り、使用権の設定を知事や国土交通相が事業者に与え、地上の用地買収や事前の補償は必要ないため、着工がスムーズに進むことなどの利点が考えられます。

3.七千万人の巨大都市圏

リニアが名古屋まで開通すれば、首都圏と合わせて五千万人、大阪までなら七千万人の約一時間で行き来出来る巨大都市圏が誕生します。このことを頭の片隅に入れたライフスタイルの構築、沿線街づくりが今後望まれるところです。

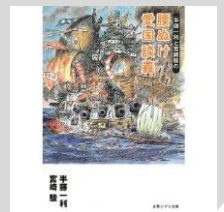


伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、半藤一利と宮崎駿の「腰抜け愛国談義」です。半藤一利83歳と宮崎駿72歳との対談です。宮崎駿監督が対談をするのならこの人、ということで実現したこの対談。二人の共通点はいろいろありますが、まずは「漱石好き」。中でも「草枕」が最高だと言う。その辺りのくだりは、まさに夢見る少年のような二人。二人ともロマンチストなんだと思います。

「この国は守れない国。ならば攻撃こそ最大の防御。自衛という名の侵略主義に結びついた」「この国は責任者というものがわからないような仕組みになっている」「持たざる国の将来」「不安な時は楽天的になって、みんなが楽天的な時は不安になれ」「堀越二郎は力を尽くしました」

「負け戦の時は負け戦の中で一生懸命生きるしかない」「東アジアの向かう方向はEUのような方向」「尖閣には避難港」「資源のない国はやっぱり知恵」「アカの他人の善意が人をつくる」「目先の利益だけではなく国家百年の計」「人との出会いが人生の楽しみ」など、なかなか意味深長です。時間を作っても読む価値あります。改めて「草枕」を読みたくなりました。文春ジブリ文庫（定価：本体570円＋税別）



ば

「ばんの豊」で facebook 始めました。

伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

E-mail: office@bannoyutaka.jp

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

